

区連協だより

2026.2 No.38



青葉区民まつり



大崎八幡宮松焚祭

提供 大崎八幡宮



宮城地区まつり



鯉のぼり×大倉ダム

地域の課題に取り組む!

青葉区連合町内会長協議会（略称：区連協）は、青葉区内38地区の連合町内会長で組織しています。各地区相互の情報交換や行政との意見交換を通して、地域のコミュニティ形成や活性化など、地域に共通する課題の解決に取り組むとともに、関係機関への働きかけを行っています。

定期総会や年3回の定例会、役員会での協議のほか、新任町内会長研修会をはじめ、円滑で充実した町内会運営に向けた研修会などを開催しています。

青葉区の概要

- 世帯数 17万3,750戸(3万107戸)
- 町内会数 499(78)町内会
うち区連協加入463(76)町内会
- 人口 31万5,373人(7万2,977人)
男 15万2,935人(3万5,060人)
女 16万2,438人(3万7,917人)

() は宮城総合支所管内で再掲
人口、世帯数は2026年2月1日現在（推計人口）
町内会数は2025年6月1日現在





ごあいさつ

青葉区連合町内会長協議会 会長 齋藤 和平

日頃より、青葉区連合町内会長協議会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、会長として二期目を務めさせていただくこととなりました。引き続き、地域の安全と活性化に向け、区連協として一丸となって取り組んで

まいりますので、よろしくお願い申し上げます。

町内会活動は、加入率の低下や役員の高齢化など様々な課題があり、従来の活動スタイルを維持することが難しくなっています。しかしながら一方で、本年度は仙台市内でクマの目撃情報が相次ぎ、自然との共生や安全確保が身近な課

題として浮き彫りになりました。こうした状況に対応するため、地域での情報共有や見守り体制の強化が一層求められ、町内会の重要性が改めて認識されたものと存じます。

こうした中、これまで築いてきた基盤を生かしつつ、デジタルの活用や柔軟な参加形態、多世代がそれぞれのスタイルで関われる仕組みづくりなど、新しい工夫を重ねる町内会も出てきており、全体として大きな転換期を迎えています。

本協議会は、こうした変化に適切に応じながら、今後も各地区連合町内会や青葉区と緊密に連携し、地域コミュニティの活性化と安心・安全の向上に取り組みながら、活力あるまちづくりを推進してまいります。引き続き、皆さまの深いご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



ごあいさつ

青葉区長 谷田 至史

青葉区連合町内会長協議会並びに町内会の皆さまには、日頃より仙台市政ならびに青葉区政に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度は、参議院議員通常選挙、市長選挙、県知事選挙と続き、年明けには衆議院議員総選挙も行われ、さらには、国勢調査や民生委員・児童委員の一斉改選も重なりました。町内会の皆さまには、いつも増して大きなお力添えをいただき、本当に感謝に堪えない思いであります。

区長に就任して以降、お祭りや運動会、サークル活動等々町内会の皆さまとは、たびたび触れ合う機会を得ました。そ

のような中でいつも感じていたのは、皆さまの愛と熱量の大きさです。コミュニティに注ぐ愛、子どもたちを見守り育てる愛、安全・安心に力を尽くし人々を支える愛、そうした愛と熱量の深さが心と身体を動かし、それらが重なり合っ

てまちがつくられていることを実感しました。近年、加入率低下や役員の担い手不足、それに伴い諸々の課題が生じている町内会活動も、地域に住む多くの人をつなげ、相互に助け合い、地域の安全・安心を守る基盤としては、これからも欠くことのない存在です。

青葉区役所、宮城総合支所は、皆さまの声に丁寧に耳を傾け、日々の生活に寄り添い、安らぎと豊かさが感じられるまちづくりに取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

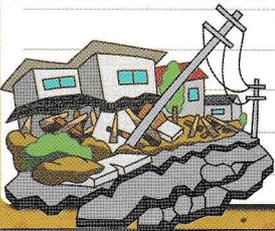


地域防災への取り組み

今年度の仙台市総合防災訓練は、9月27日に吉成地区（宮城総合支所管内）で、10月4日に川平地区（青葉区）でそれぞれ開催され、地域の多くの方が参加し、応急救護訓練などに取り組みました。

災害は予測できないため、町内会には日頃からの備えが求められます。過去の経験や教訓を活かし、実践的な訓練や情報共有を重ねることで、迅速に対応できる体制が整えられ、地域の安全と安心な暮らしを守ることができます。

今後もそれぞれの地域における防災の課題を把握し、自主防災組織の強化や関係機関との連携強化等を図りながら地域防災力の向上に努めてまいります。



吉澤副会長（防災担当）
中村防災担当理事
中野防災担当理事

地域コミュニティ活性化への取り組み

昨年度に引き続き、区中心部で増加し続けるマンションにおいて、町内会結成等の地域コミュニティ形成を活性化させるため「マンションコミュニティ形成促進検討会」を開催しました。町内会未組織・未加入のマンションやデベロッパー、管理会社を訪問し、町内会の結成や加入などの呼びかけを行いました。

また、11月3日に開催された区民まつりでは、区連協ブースを出展し、町内会加入案内チラシの配布や町内会に関するアンケートも実施し、多くの来場者にご協力いただきながら啓発活動を行いました。

これからも、町内会活動の意義や重要性についての働きかけを継続して行い、地域コミュニティの活性化に取り組んでまいります。



小野寺副会長（コミュニティ担当）
佐々木コミュニティ担当理事

主な事業

- ◆ **新任町内会長研修会**（6月26日、141ビル）
新任町内会長39名が参加。北仙台地区連合町内会・小野寺会長による区連協の概要説明や、国見地区連合町内会・吉澤会長による町内会活動事例の紹介を実施したほか、区職員から町内会活動にかかわる制度を説明しました。
- ◆ **令和7年度町内会活動の手引き**（7月3日）
町内会活動に係る各支援制度や市の担当部署等を掲載している冊子を全町内会へ送付いたしました。

- ◆ **連合町内会長研修会**（10月7日、錦ヶ丘アーリー迎賓館）
新川地区で運行されている乗合タクシー「ハツ森号」の取り組みについて、新川地区地域交通運営検討会と都市整備局地域交通推進課から発表を受けました。さらに、作並温泉旅館組合による作並温泉の振興に関する事例紹介を聞き、地域活性化の工夫について話し合いました。
今後も町内会のあるべき姿を検討し続けながら、区連協が中心となって地域コミュニティの活性化に資する事業運営に努めてまいります。

庄子副会長（総務担当）
千葉総務理事



地域活動の紹介



『イベント』を通じ地域の連携を図る

折立学区町内会連合会 会長 山崎 徹

折立学区町内会連合会は、昭和47年4月に設立され13町内会・6地域団体が構成されています。

折立地域は、蕃山・広瀬川等の素晴らしい自然環境に恵まれており、実に様々なイベントが毎年開催されています。

10月の最終土曜日に開催される『折立ふれあいまつり』は、折立市民センターにおけるサークル活動の発表の場であり、折立幼稚園・折立小学校・折立中学校も参加し毎回大変な盛り上がりを見せています。特にフィナーレを飾る大抽選会はものすごい熱気に包まれます。

11月の最終土曜日に開催される『ライトアートin折立』は、子供達のためにと折立公園で始めたイベントですが今では大人が夢中になっています。折立小学校の児童達がデザインを考案

したピカボードが夜の闇に煌めく幻想的な光景は実に見事です。

この他沢山のイベントがありますが、今後とも様々なイベントを通じ地域の連携を図っていきたく考えています。



第21回『折立ふれあいまつり』
折立中学校「ソーラン隊」による踊り

文化を守り、未来を創る地域の取り組み

川前地区連合町内会 会長 袖澤 勝義

川前地区連合町内会は、6つの町内会約2,018世帯で構成されています。仙台市の西部に位置し、酪農や稲作が行われ旧来から居住する住民の多い農業地域と、開発された赤坂団地、高野原団地と若い世代の住民が多い地域が混在している地域です。

夏には、「川前夏まつり」が行われ、郷土の民俗芸能である川前鹿踊りや、小学校生徒によるソーラン踊り、地元の皆様の演舞、町内会の模擬店、花火大会を開催し町内の融和を図っています。

秋には、「収穫祭」を通じて地域の人々の交流や連携及び融和を促進し、地域コミュニティを活性化することにより誰もが豊かで幸せに暮らしていくまちづくりを目指しております。

この地域ではサル・イノシシ・クマなどの野生鳥獣の出没範囲も広がっており、住宅地への出没が目立ってきているなどの



川前夏祭りの様子

課題があります。この野生鳥獣の対策については、仙台市の協力のもと、対応を検討し、住民が安心して暮らせる地域を目指してまいりたいと思います。

令和7年度区連協の主な活動

令和7年

- 4月10日 令和6年度会計監査
- 4月25日 第1回役員会
- 5月15日 定期総会
- 5月29日 第2回役員会
- 6月12日 第1回定例会
- 6月26日 新任町内会長研修会
- 8月25日 第1回マンション
コミュニティ検討会
- 9月24日 第3回役員会
- 9月27日 防災訓練視察 (吉成地区)
- 10月 4日 防災訓練視察 (川平地区)

- 10月 7日 第2回定例会
& 連合町内会長研修会
- 12月 5日 第3回定例会

令和8年

- 1月22日 第2回マンション
コミュニティ検討会
- 1月29日 青葉区町内会長研修会
- 3月中旬 第3回マンション
コミュニティ検討会 (予定)
- 3月下旬 第4回役員会 (予定)

地域懇談会

地域懇談会は、地域のさまざまな問題について、地域と行政が話し合う場です。

本年度は、北仙台、川平、台原北部、貝ヶ森、八幡、上杉、折立、国見、桜ヶ丘、荒巻、小松島、中江、北六の13地区で開催しました。



令和7年度町内会活動の功績で表彰を受けた方々

(敬称略)

市政功労者表彰

鈴木 茂(台原東部連合町内会長)
小林 守(大倉地域連合町内会長)
中野 三郎(愛子地区連合町内会長)

宮城県自治会連合会表彰

庄子 隆(落合・栗生地区連合町内会長)

町内会役員永年勤続表彰

●町内会長特別表彰(30年以上勤続)
上 杉=尾形 喜昭(錦町パークマンション町内会)

●町内会長10年以上勤続退任表彰

五 橋=古山 健造(青葉土樋町内会)
上 杉=芳賀 清介(いずみ会)
小松島=佐藤 隆志(高松町内会)
桜ヶ丘=遠藤 喜雄(桜ヶ丘東町内会)
川 前=酒井 良雄(赤坂一丁目町内会)
落合・栗生=早坂 秀雄(栗生一丁目町内会)

●町内会長勤続10年表彰

貝ヶ森=竹丸 美晴(貝ヶ森親和会)
錦ヶ丘=山内 潔(錦ヶ丘三丁目自治会)

●町内会長5年以上勤続退任表彰

北仙台=山口 春雄(幸福ヶ丘町内会)
国 見=河内 英博(菊田町内会)
貝ヶ森=植木清一郎(貝ヶ森表町内会)

●町内会役員特別表彰 受賞者2名

●町内会役員勤続10年表彰 受賞者36名



▲永年勤続表彰式

令和7年度青葉区連合町内会長協議会 会員名簿

会 長

齋藤 和平(南吉成学区連合町内会)

副 会 長

吉澤 秀晃(国見地区連合町内会)
小野寺 彰(北仙台地区連合町内会)
庄子 隆(落合・栗生地区連合町内会)

総務理事

千葉富士男(東六地区連合町内会)

会計理事

大柳 弘(小松島学区町内会連合会)

防災担当理事

中村 等(中江地区町内会連合会)
中野 三郎(愛子地区連合町内会)

コミュニティ担当理事

佐々木厚一(上杉地区連合町内会)

会計監事

伊藤 勝衛(大沢小学学区連合町内会)
鈴木 茂(台原東部連合町内会)
齋藤 裕子(東二地区連合町内会)

顧 問

島田 福男(川平学区連合町内会)

会 員

早坂 一夫(片平地区連合町内会)
藤原 直(東一番丁連合会)
安住 浩一(中央通り連合会)
二本柳 基(五橋地区連合町内会)
鈴木 守義(北六地区連合町内会)
山下 紀生(旭ヶ丘南部連合町内会)
三塚 康夫(旭ヶ丘町内会連合会)
村上 一彦(台原地区町内会連合会)
村岡 貴子(台原北部連合町内会)
齋藤 公男(荒巻地区町内会連合会)
折原 久治(桜ヶ丘学区連合町内会)
高橋 操二(中山学区連合町内会)
西澤 啓文(立町地区町内会連合会)
加藤 有一(木町通学区連合町内会)
斉藤 邦雄(通町地区町内会連合会)
阿部 俊昭(八幡地区町内連合会)
山崎 徹(折立学区町内会連合会)
菅原 裕一(貝ヶ森地区連合町内会)
加藤 和夫(広瀬地区連合町内会)
榎 菊男(上愛子学区連合町内会)
荒井 忠男(作並地域連合町内会)
袖澤 勝義(川前地区連合町内会)
稲山 孝司(吉成学区連合町内会)
小林 守(大倉地域連合町内会)
小倉 薫(錦ヶ丘連合自治会)



▲連合町内会長研修会



▲編集委員

事務局

青葉区まちづくり推進課

〒980-8701
仙台市青葉区上杉一丁目5-1
電話 225-7211(内線6133)
FAX 222-7119



ホームページ <http://www.sendai-aoba.jp>

編集後記

令和7年度の区連協だより第38号をお届けします。原稿を執筆された方々、編集に携わられた方々に感謝申し上げます。
各地域でさまざま工夫を凝らし町内会活動を行っていると思いますが、記事で紹介している区連協の活動や各地区連合町内会の取り組みが皆さまの町内会活動の参考になれば幸いです。

編集委員 吉澤 秀晃 小野寺 彰
庄子 隆 千葉富士男

